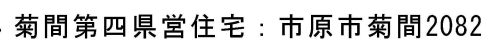


菊間第四県営住宅 28～32号棟屋外給水設備改修工事（令和7年度）

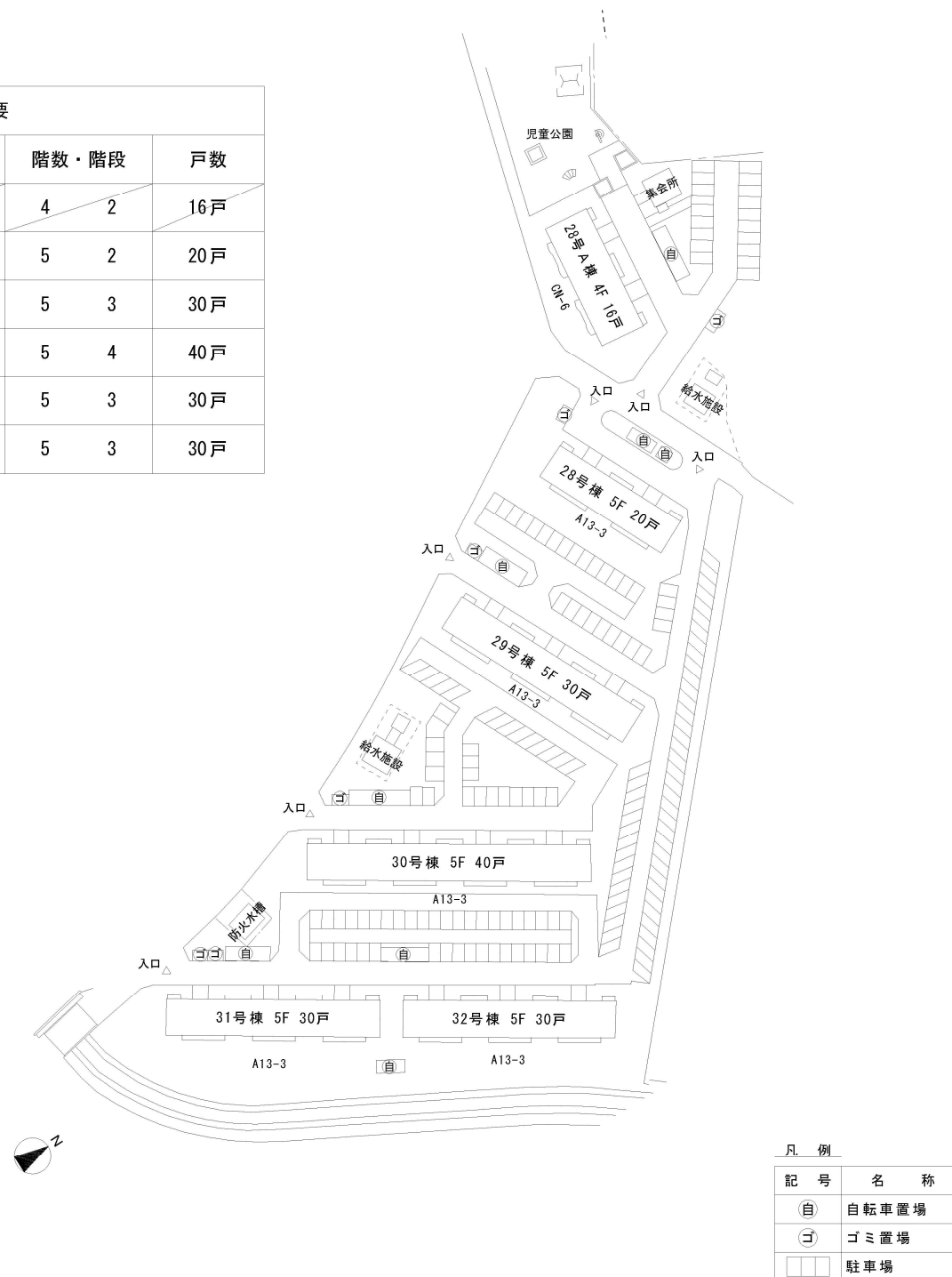
[illegible]

[illegible]

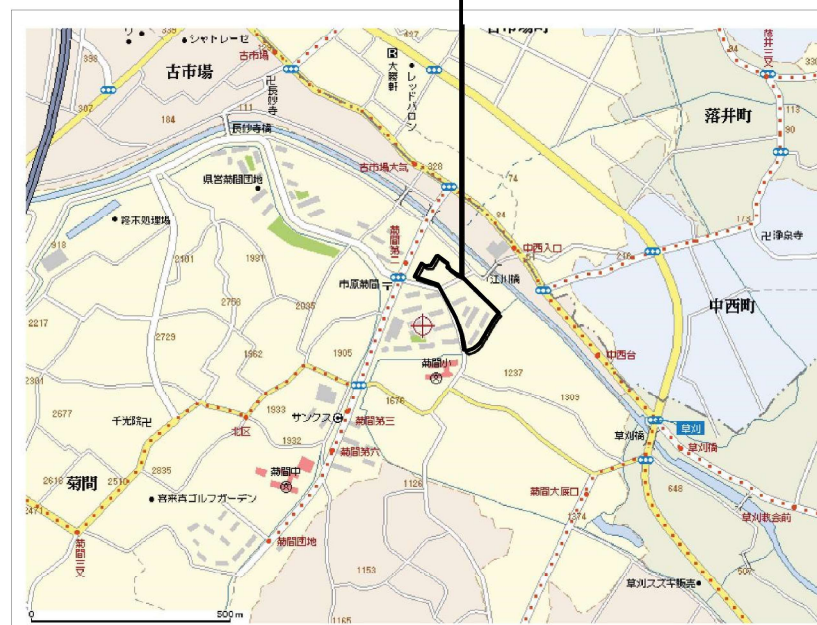
[illegible]



対 象 住 棟 概 要				
棟	建築年	タイプ	階数・階段	戸数
28A号棟	1982年	C N－6	4 2	16戸
28号棟	1978年	A 1 3－3	5 2	20戸
29号棟	1978年	A 1 3－3	5 3	30戸
30号棟	1977年	A 1 3－3	5 4	40戸
31号棟	1977年	A 1 3－3	5 3	30戸
32号棟	1977年	A 1 3－3	5 3	30戸



配置図 1 : 1,000



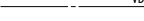
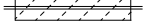
案内図

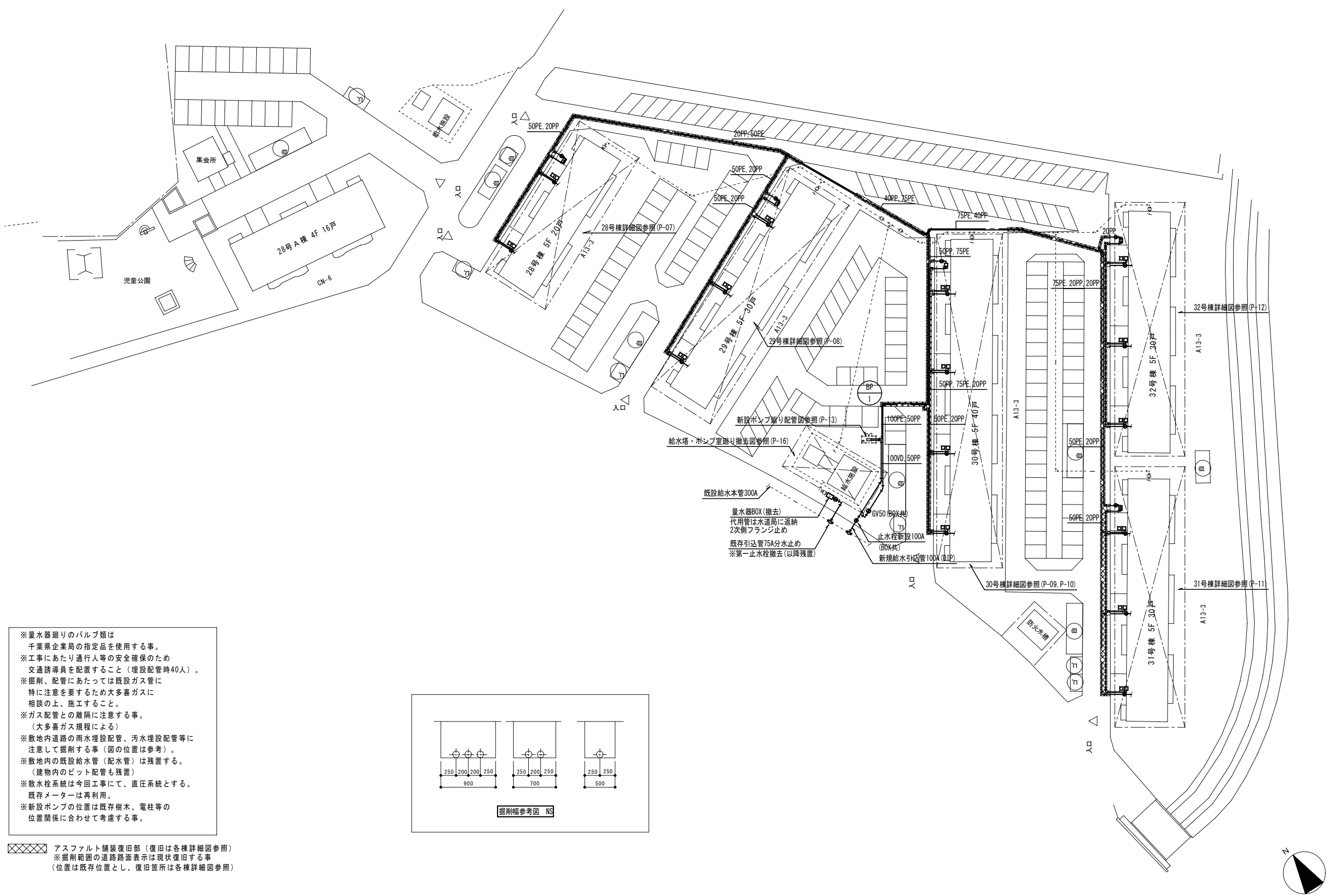


機器一覽表

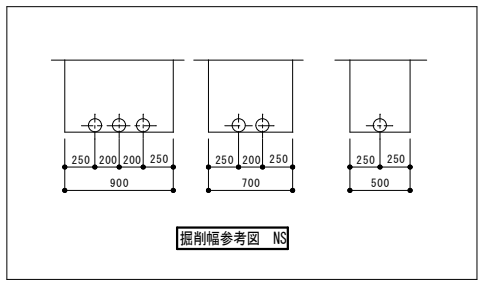
[illegible]

凡	例
---	---

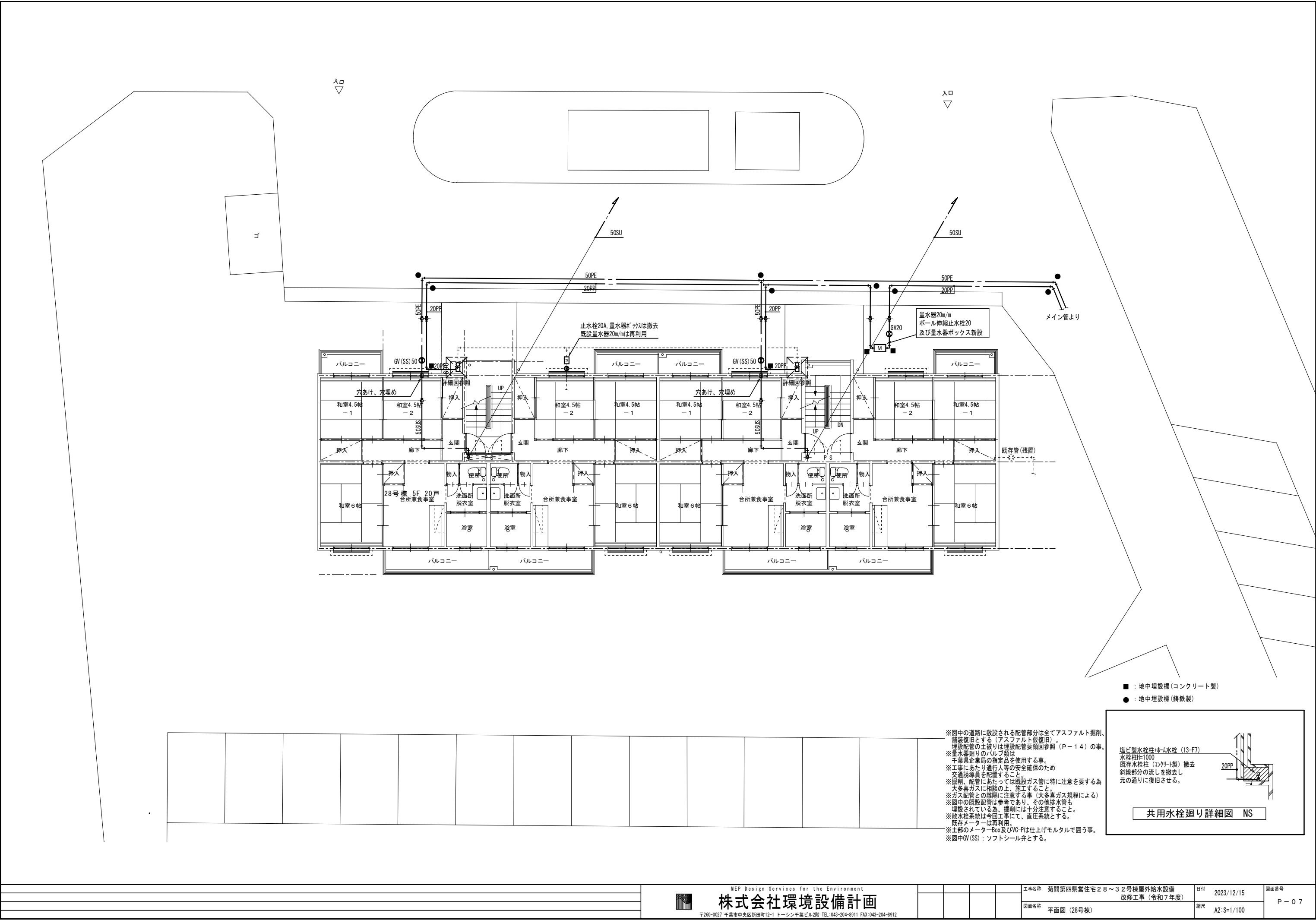
記 号	名 称	仕 様・規 格	備 考
	給 水 管	水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)	地中
	給水構内本管	水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	地中
	給 水 管	一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	ピット内、P S 内
	給 水 管	硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VB (JWWA K 116)	増圧ポンプ廻り
	排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP管 (JIS K 6741)	各立管吸排気弁二次側
	給 水 管	硬質塩化ビニルライニング鋼管SGP-VD (JWWA K 116)	引込管接続部
	パタフライバルブ	(65A以上) ライニング弁 JIS10K	図面に特記なき場合左記による
	仕 切 弁	(埋設65A以上) ソフトシール仕切弁 JIS10K (上記以外) JIS10K青銅弁	図面に特記なき場合左記による
	防 振 継 手	(ポンプ廻り、合成ゴム製二山)	
	地中埋設標、埋設ピン	コンクリート製、鉄製	
	アスファルト舗装復旧部		要領図参照
	コンクリート舗装復旧部		要領図参照

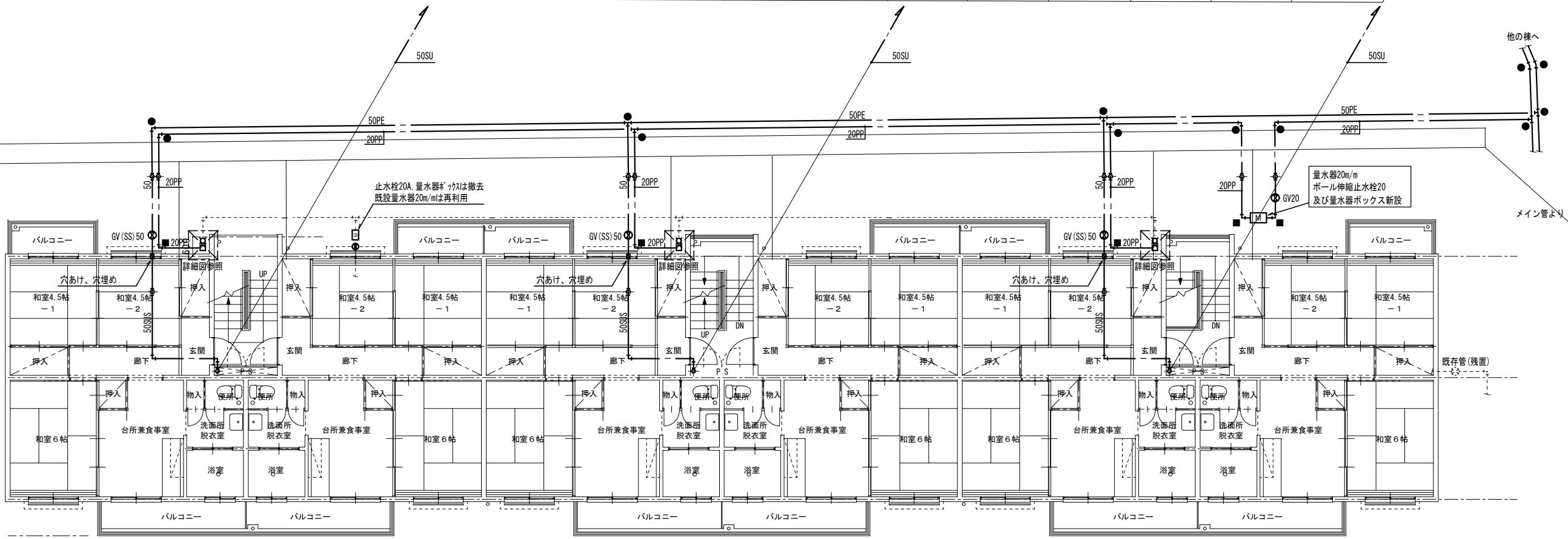


- ※量水器廻りのバルブ類は千葉県企業局の指定品を使用する事。
- ※工事にあたり通行人等の安全確保のため交通誘導員を配置すること（埋設配管時40人）。
- ※掘削、配管にあたっては既設ガス管に特に注意を要するため大多喜ガスに相談の上、施工すること。
- ※ガス配管との離隔に注意する事。（大多喜ガス規程による）
- ※敷地内道路の雨水埋設配管、汚水埋設配管等に注意して掘削する事（図の位置は参考）。
- ※敷地内の既設給水管（配水管）は残置する。（建物内のビット配管も残置）
- ※散水栓系統は今回工事にて、直圧系統とする。既存メーターは再利用。
- ※新設ポンプの位置は既存樹木、電柱等の位置関係に合わせて考慮する事。



アスファルト舗装復旧部（復旧は各棟詳細図参照）
※掘削範囲の道路路面表示は現状復旧する事（位置は既存位置とし、復旧箇所は各棟詳細図参照）

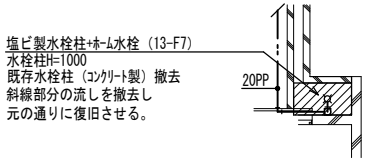


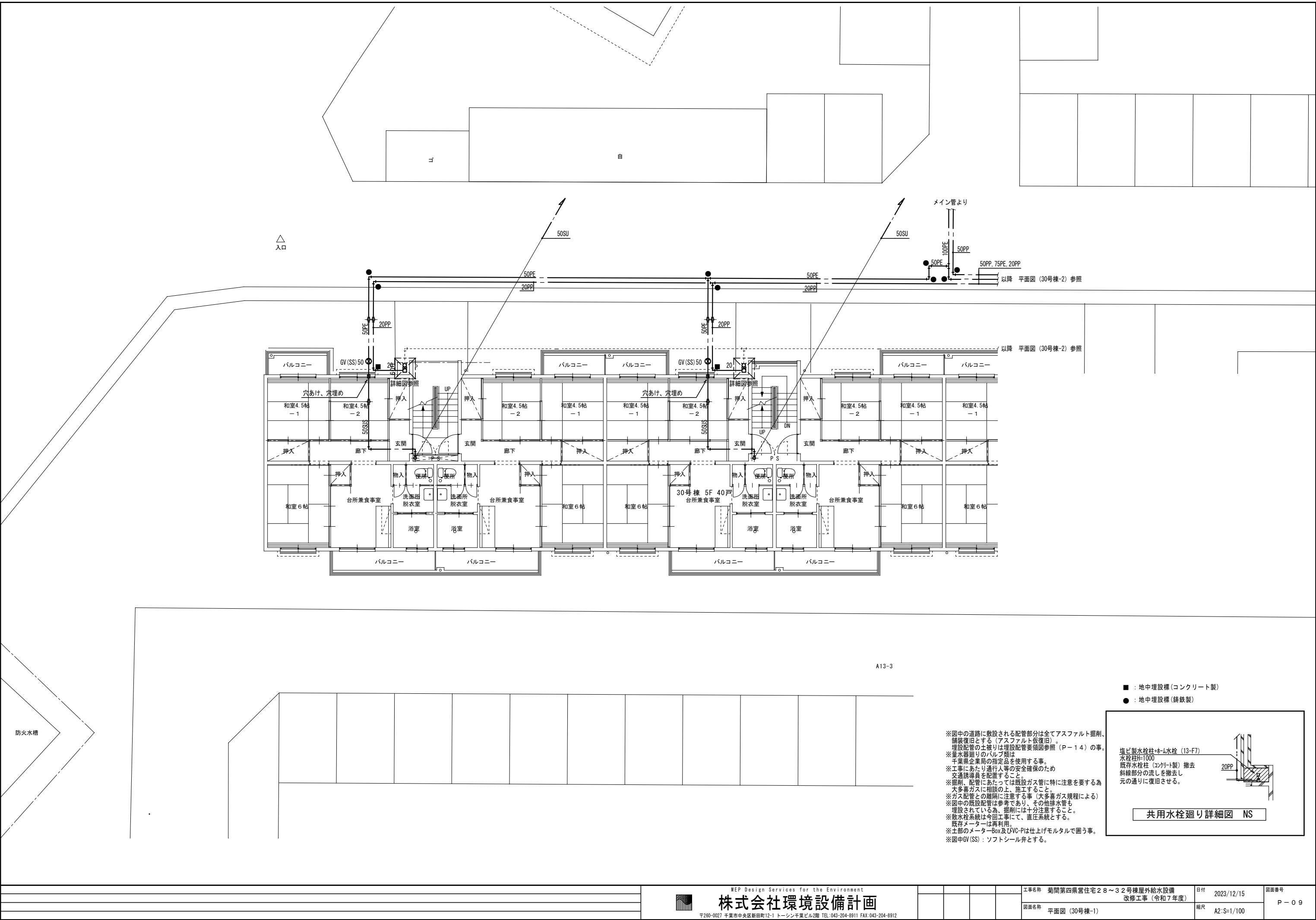


A13-3

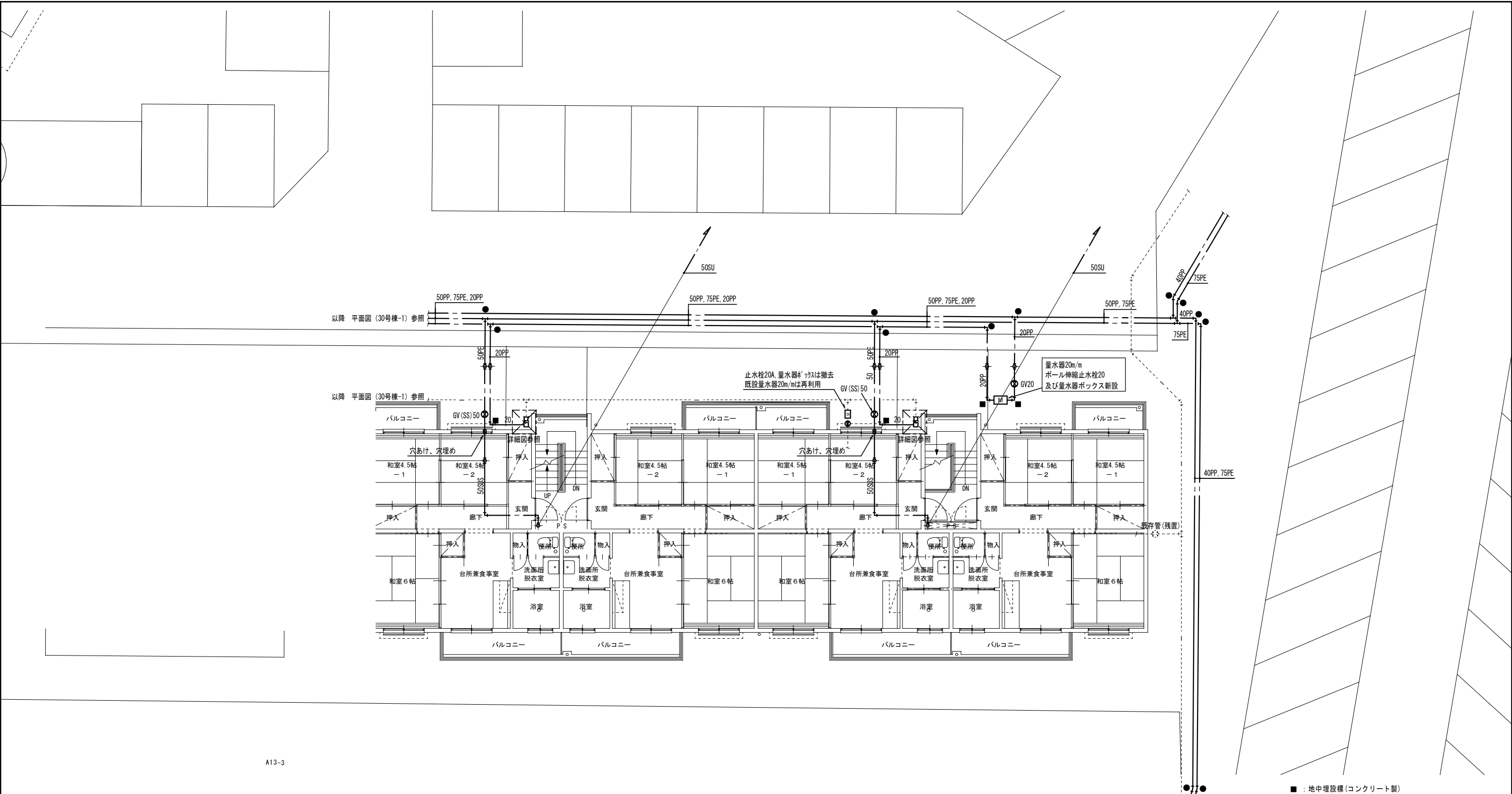
- : 地中埋設標(コンクリート製)
- : 地中埋設標(鑄鉄製)

※図中の道路に敷設される配管部分は全てアスファルト掘削、舗装復旧とする(アスファルト板復旧)。
埋設配管の土留りは埋設配管要領図参照(P-14)の事。
※量水器廻りのバルブ類は
千葉県企業局の指定品を使用する事。
※工事にあたり通行人等の安全確保のため
交通誘導員を配置すること
※掘削、配管にあたっては既設ガス管に特に注意を要する為
大多喜ガスに相談の上、施工すること。
※ガス配管との離隔に注意する事(大多喜ガス規程による)
※図中の既設配管は参考であり、その他排水管も
埋設されている為、掘削には十分注意すること。
※散水栓系統は今回工事にて、直圧系統とする。
既存メーターは再利用。
※土部のメーターBox及びVVC-PIは仕上げモルタルで囲う事。
※図中GV(SS) : ソフトシール弁とする。





MEP Design Services for the Environment				工事名称 菊間第四県営住宅 28～32号棟屋外給水設備 改修工事 (令和7年度)				日付 2023/12/15	図面番号 P-09
図面名称 平面図 (30号棟-1)				縮尺 A2:S=1/100					

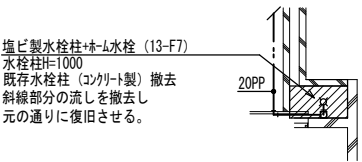


A13-3

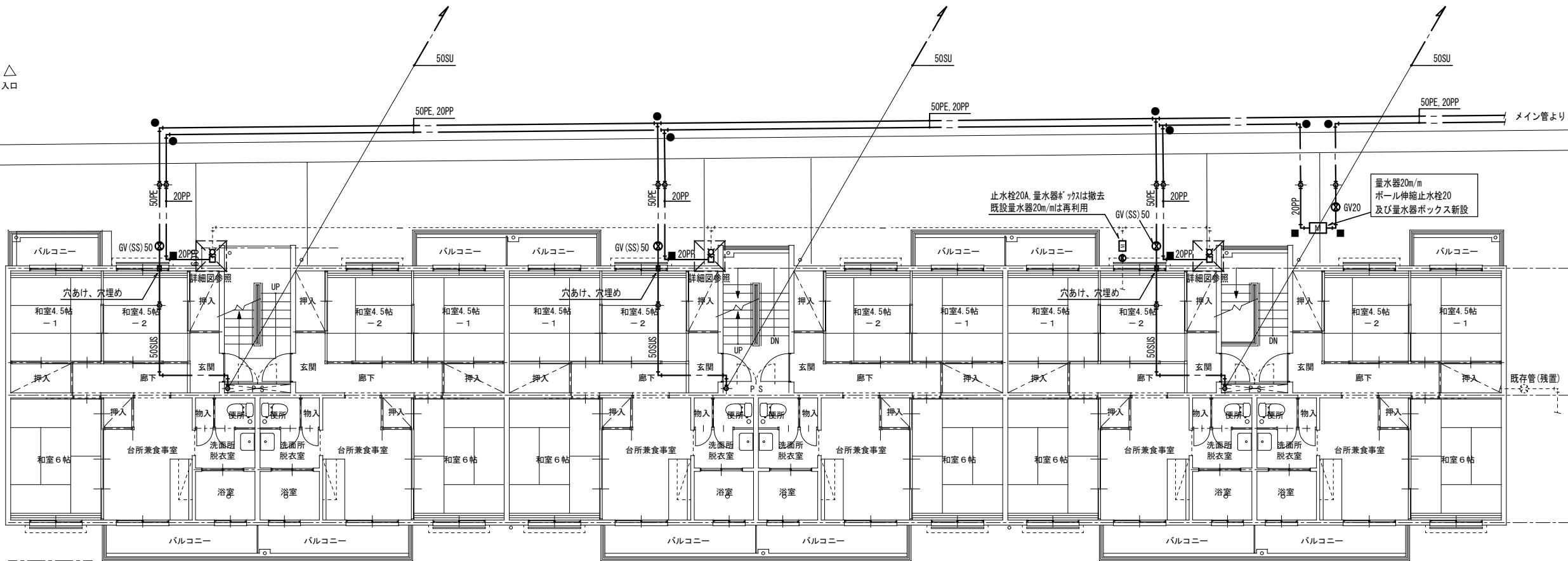
- : 地中埋設標(コンクリート製)
- : 地中埋設標(鑄鉄製)

他の棟へ

※図中の道路に敷設される配管部分は全てアスファルト掘削、舗装復旧とする(アスファルト仮復旧)。
埋設配管の土盛りは埋設配管要領図参照(P-14)の事。
※量水器廻りのバルブ類は
千葉県企業局の指定品を使用する事。
※工事にあたり通行人等の安全確保のため
交通誘導員を配置すること
※掘削、配管にあたっては既設ガス管に特に注意を要する為
大多喜ガスに相談の上、施工すること。
※ガス配管との離隔に注意する事(大多喜ガス規程による)
※図中の既設配管は参考であり、その他排水管も
埋設されている為、掘削には十分注意すること。
※散水栓系統は今回工事にて、直圧系統とする。
既存メーターは再利用。
※土部のメーターBox及びVC-PIは仕上げモルタルで囲う事。
※図中GV(SS):ソッドル井とする。

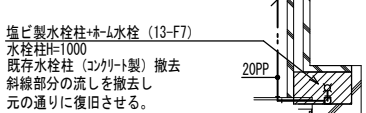


共用水栓廻り詳細図 NS

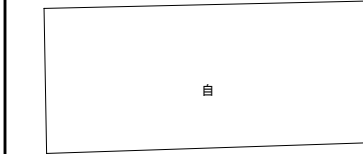


※図中の道路に敷設される配管部分は全てアスファルト掘削、補装復旧とする(アスファルト仮復旧)。
埋設配管の土留りは埋設配管要領図参照(P-14)の事。
※量水器廻りのバルブ類は
千葉県企業局の指定品を使用する事。
※工事にあたり通行人等の安全確保のため
交通誘導員を配置すること
※掘削、配管にあたっては既設ガス管に特に注意を要する為
大多喜ガスに相談の上、施工すること。
※ガス配管との離隔に注意する事(大多喜ガス規程による)
※図中の既設配管は参考であり、その他排水管も
埋設されている為、掘削には十分注意すること。
※散水栓系統は今回工事にて、直圧系統とする。
既存メーターは再利用。
※土部のメーターBox及びVC-Pは仕上げモルタルで囲う事。
※図中GV(SS)：ソフトシール弁とする。

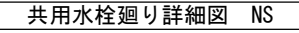
- ：地中埋設標(コンクリート製)
- ：地中埋設標(铸铁製)

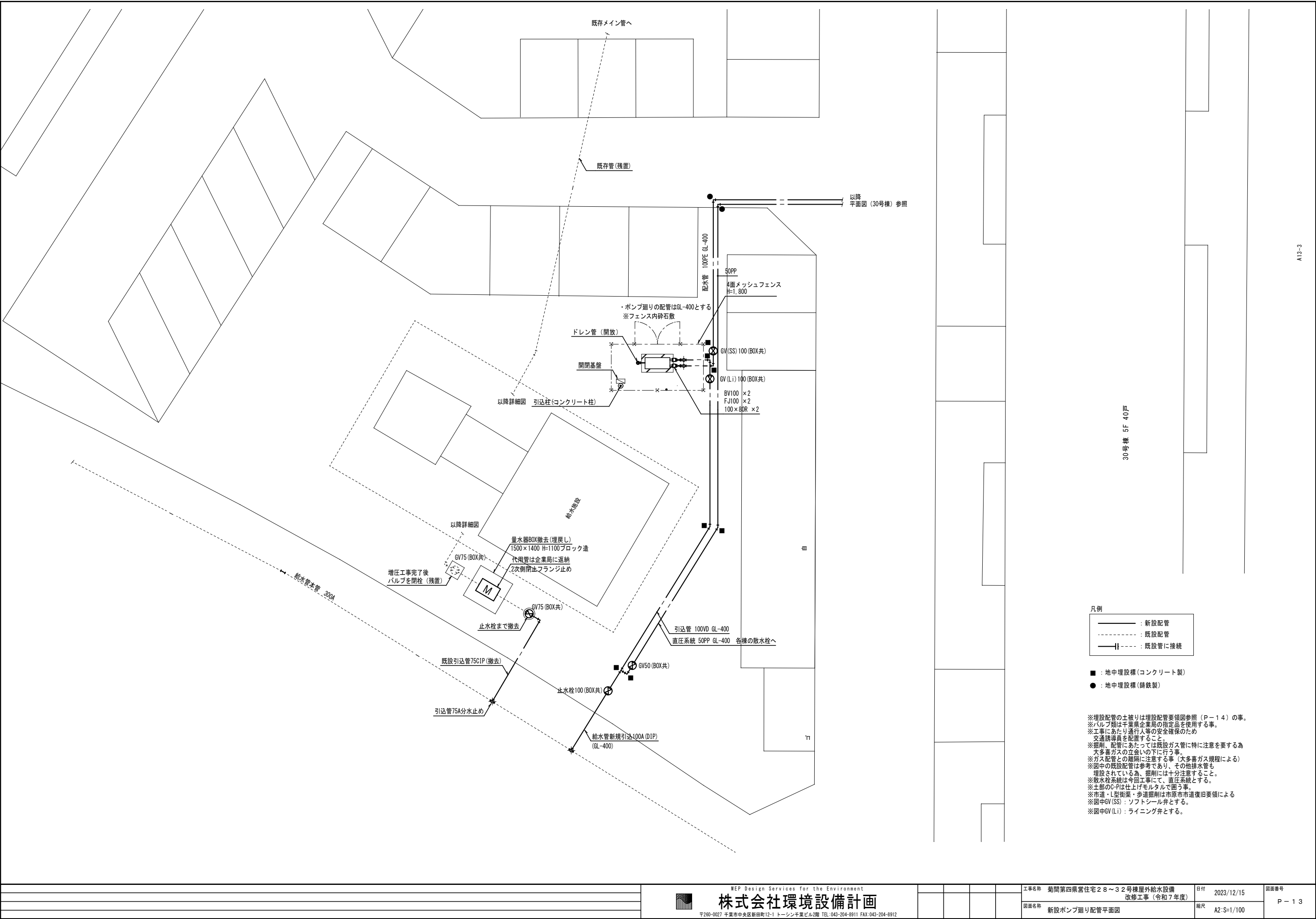


共用水栓廻り詳細図 NS



- ※図中の道路に埋設される配管部分とはまたアスファルト掘削、補修などを行う「アスファルト復旧区」。
- 埋設配管の土壌裡には埋設配管要領図参照（P-14）の事。
- ※流量センサーのハルパは「千葉県企業局の指定品を使用する事」。
- ※工事により通行人等の安全確保のため交通誘導員を配置すること。
- ※掘削、配管にあたっては埋設配管に特に注意を要する為、大多喜ガスに相談の上、施工すること。
- ※ガス配管の掘削に注意する事（大多喜ガス規程による）。
- ※図中の既設配管は参考であり、その他排水管も埋設されている為、掘削には十分注意すること。
- ※散水水系は今回工事に、直圧系統とする。
- 既存メーターは再利用。
- ※土留のメーターBox及びVVC-PIは仕上仕モルタルで囲う事。
- ※図中GV(SST)：ソフトシールとする。





凡例

—— : 新設配管

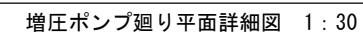
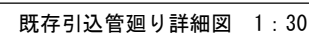
----- : 既設配管

——||----- : 既設管に接続

■ : 地中埋設標(コンクリート製)

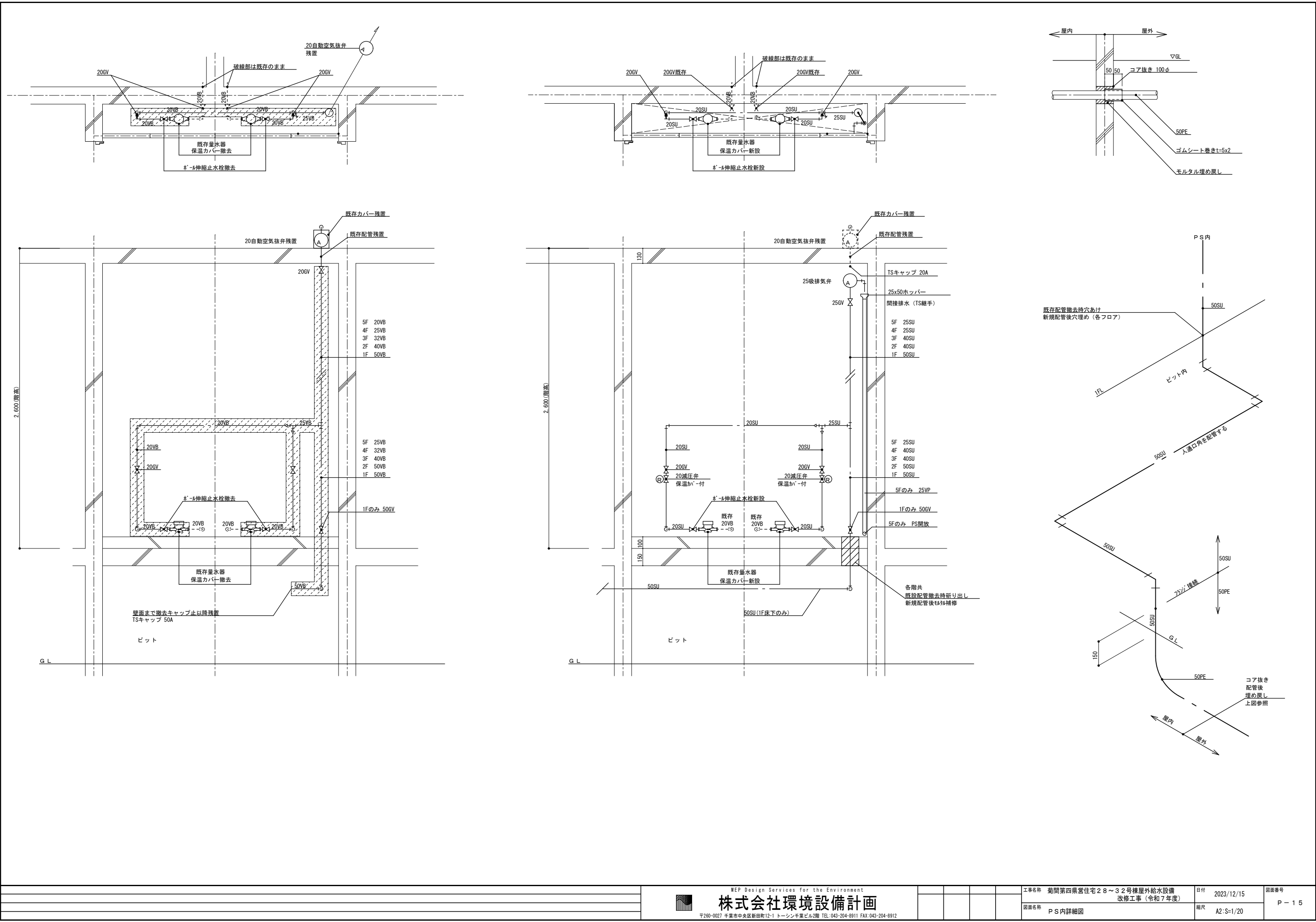
● : 地中埋設標(铸铁製)

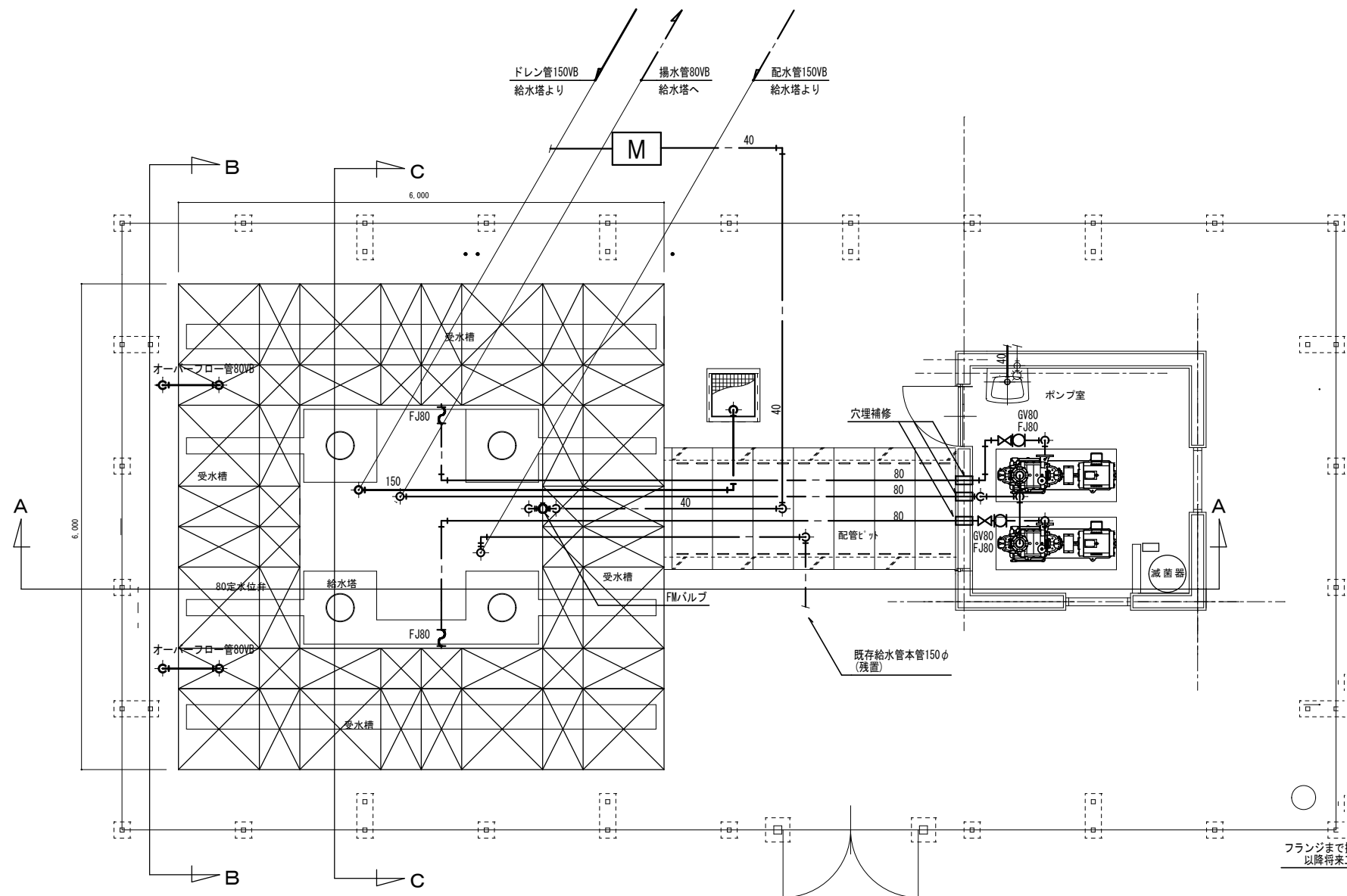
※埋設配管の土被りは埋設配管要領図参照(P-14)の事。
※バルブ類は千葉県企業局の指定品を使用する事。
※工事にあたり通行人等の安全確保のため
交通誘導員を配置すること。
※掘削、配管にあたっては既設ガス管に特に注意を要する為
大多喜ガスの立会いの下に行う事。
※ガス配管との離隔に注意する事(大多喜ガス規程による)
※図中の既設配管は参考であり、その他排水管も
埋設されている為、掘削には十分注意すること。
※散水栓系統は今回工事にて、直圧系統とする。
※土部のC-Pは仕上げモルタルで固う事。
※市道・L型街渠・歩道掘削は市原市市道復旧要領による
※図中GV(SS) : ソフトシール弁とする。
※図中GV(Li) : ライニング弁とする。



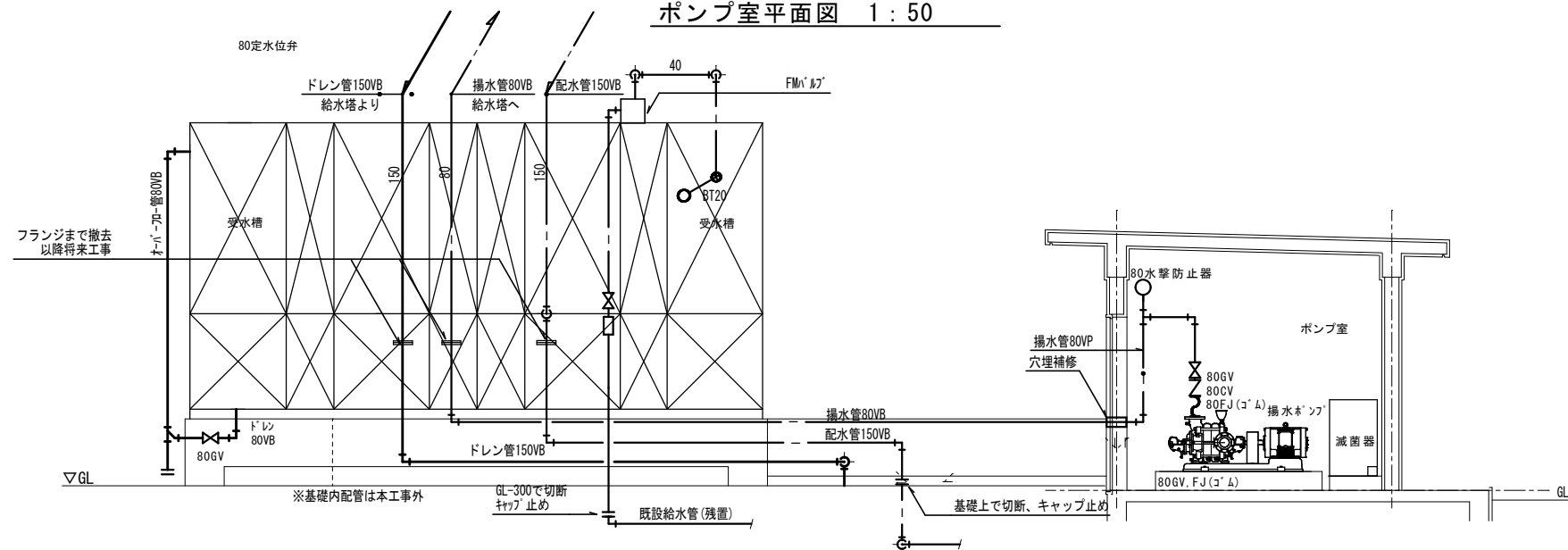
増圧ポンプ廻り立面詳細図 1 : 30

※ポンプ基礎は各メーカー機器の荷重等を考慮し転倒しない寸法とする事。

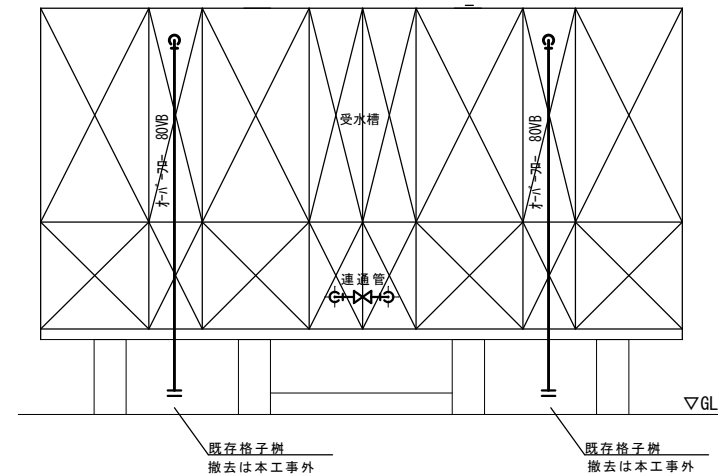




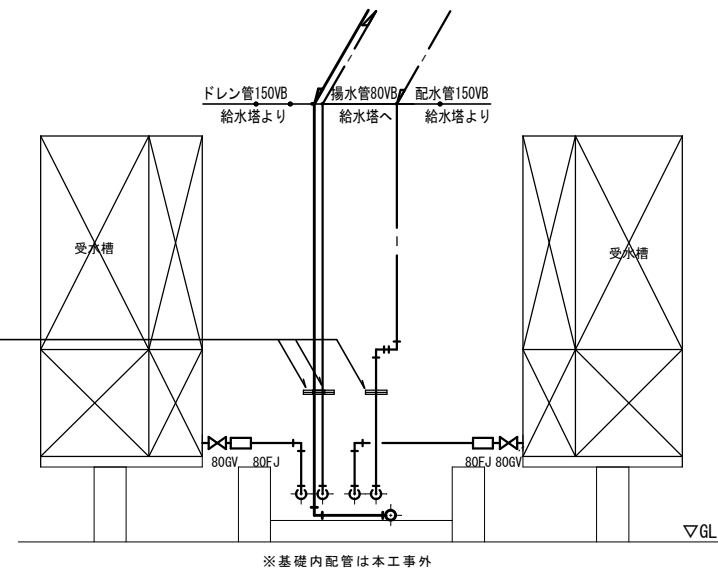
ポンプ室平面図 1 : 50



A - A 断面図 1 : 50



B - B 断面図 1 : 50

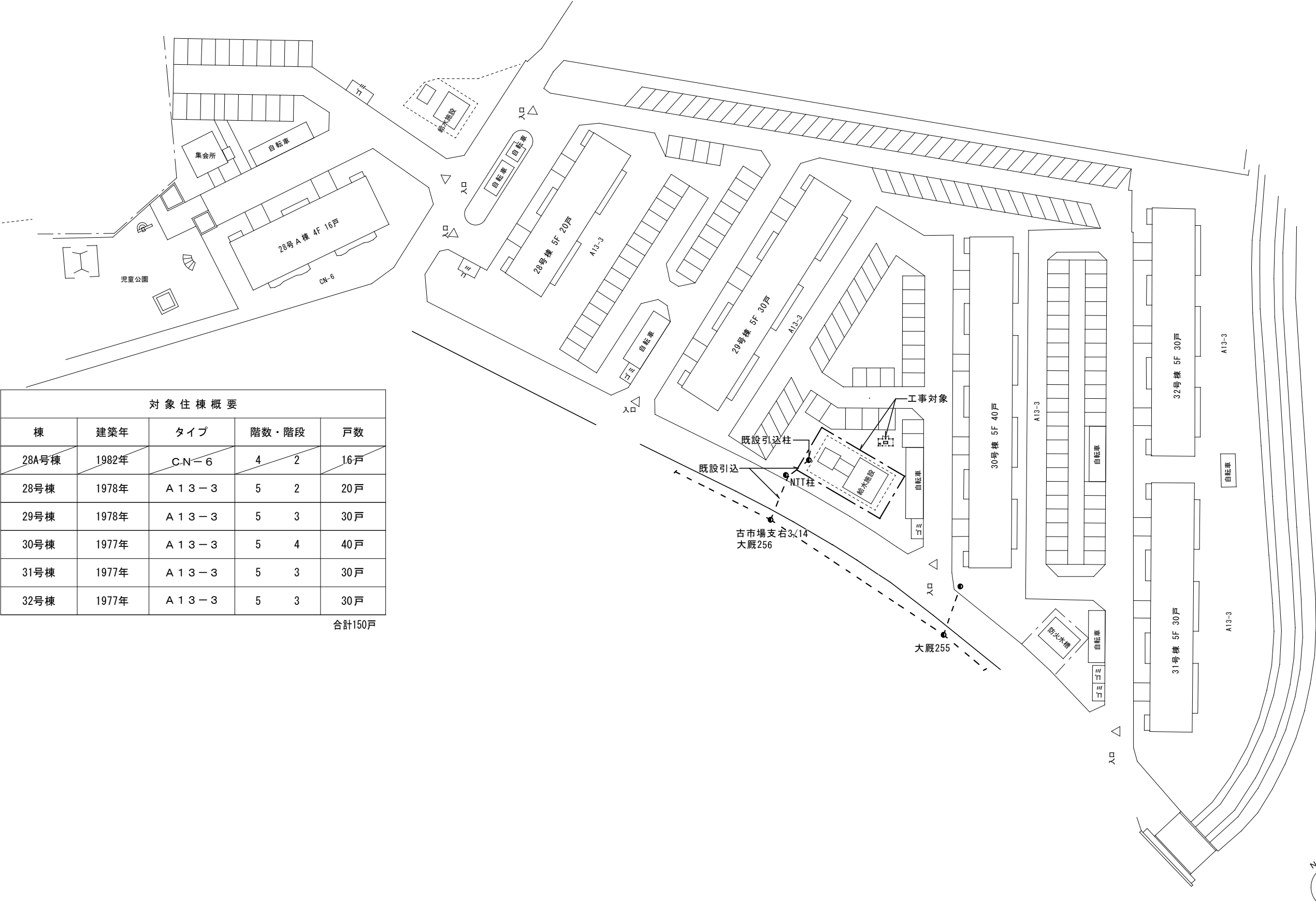


C - C 断面図 1 : 50

撤去機器一覧表

名 称	仕 様	数 量	型 番
揚 水 ポ ン プ	多段渦巻型、口径80φ×4段×7.5kw	2	M80-IV-1
滅 菌 器	容量200リットル	1	
参 考			
受 水 槽 (撤去将来工事)	FRP製、架台共 寸法6.0×6.0×3.0h、二槽式 有効容量、67.5m3	1	

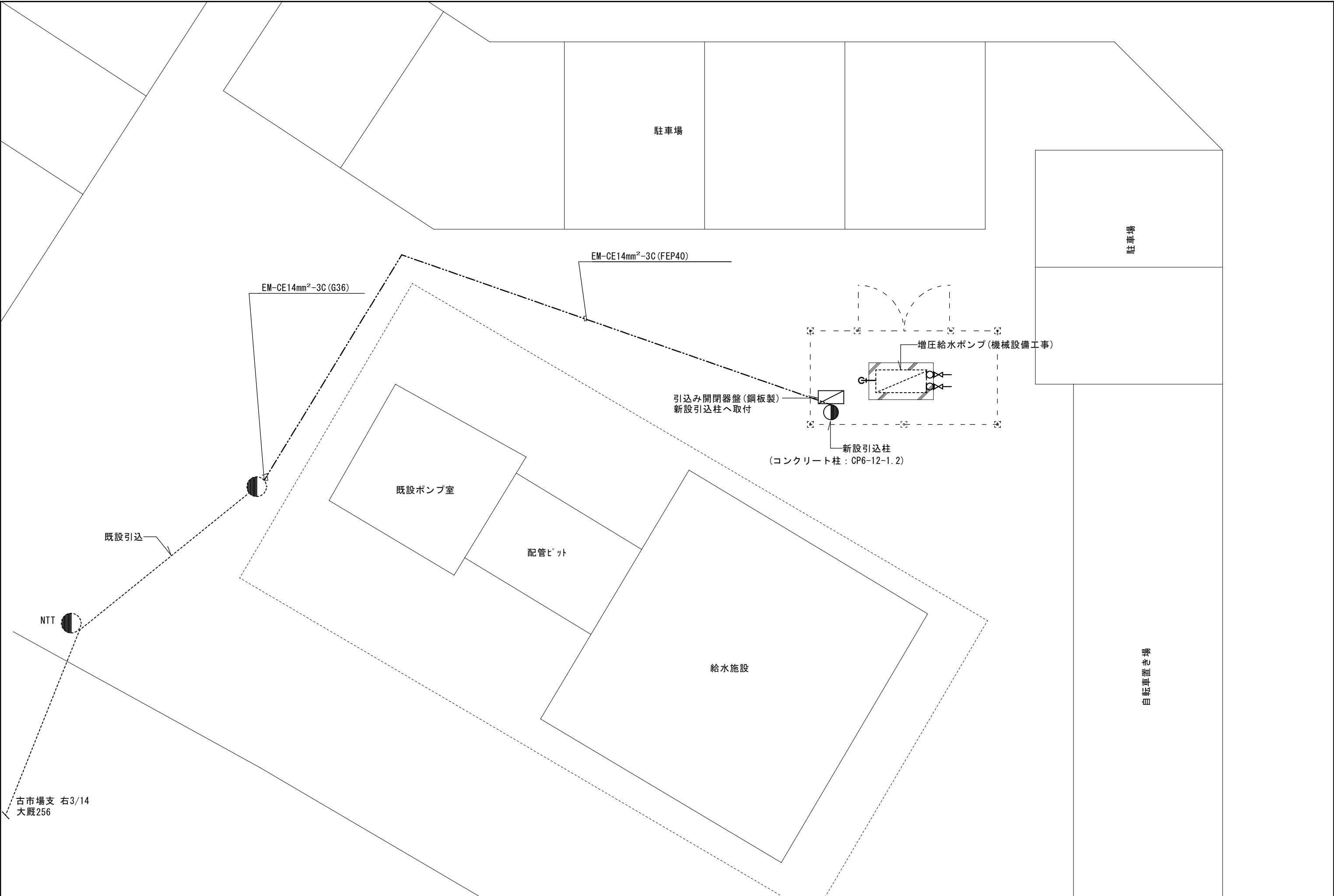
[illegible]

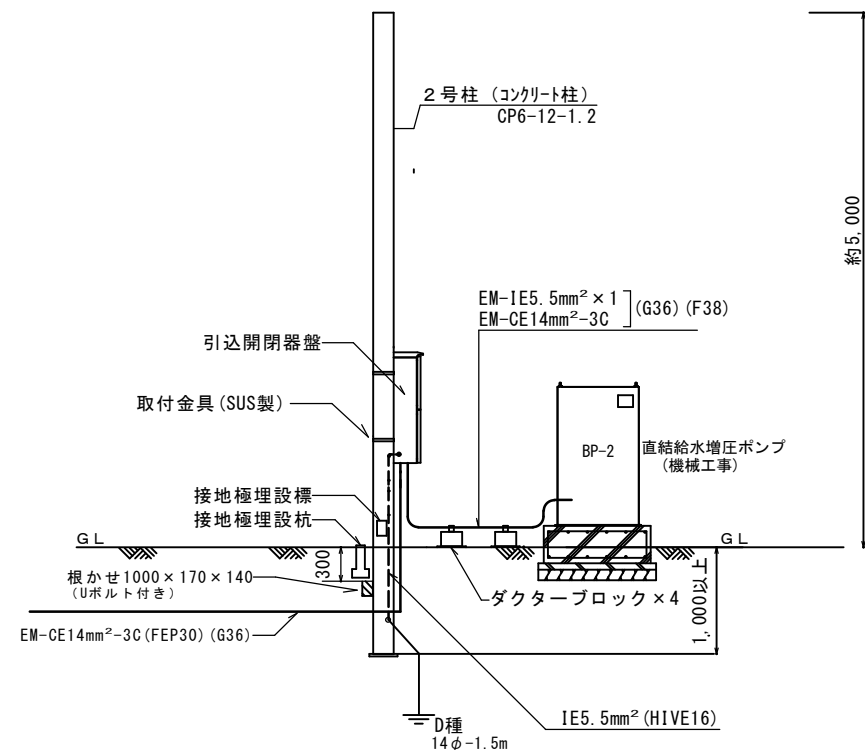


対象住棟概要				
棟	建築年	タイプ	階数・階段	戸数
28A号棟	1982年	C-N-6	4 / 2	16戸
28号棟	1978年	A 1 3 - 3	5 / 2	20戸
29号棟	1978年	A 1 3 - 3	5 / 3	30戸
30号棟	1977年	A 1 3 - 3	5 / 4	40戸
31号棟	1977年	A 1 3 - 3	5 / 3	30戸
32号棟	1977年	A 1 3 - 3	5 / 3	30戸

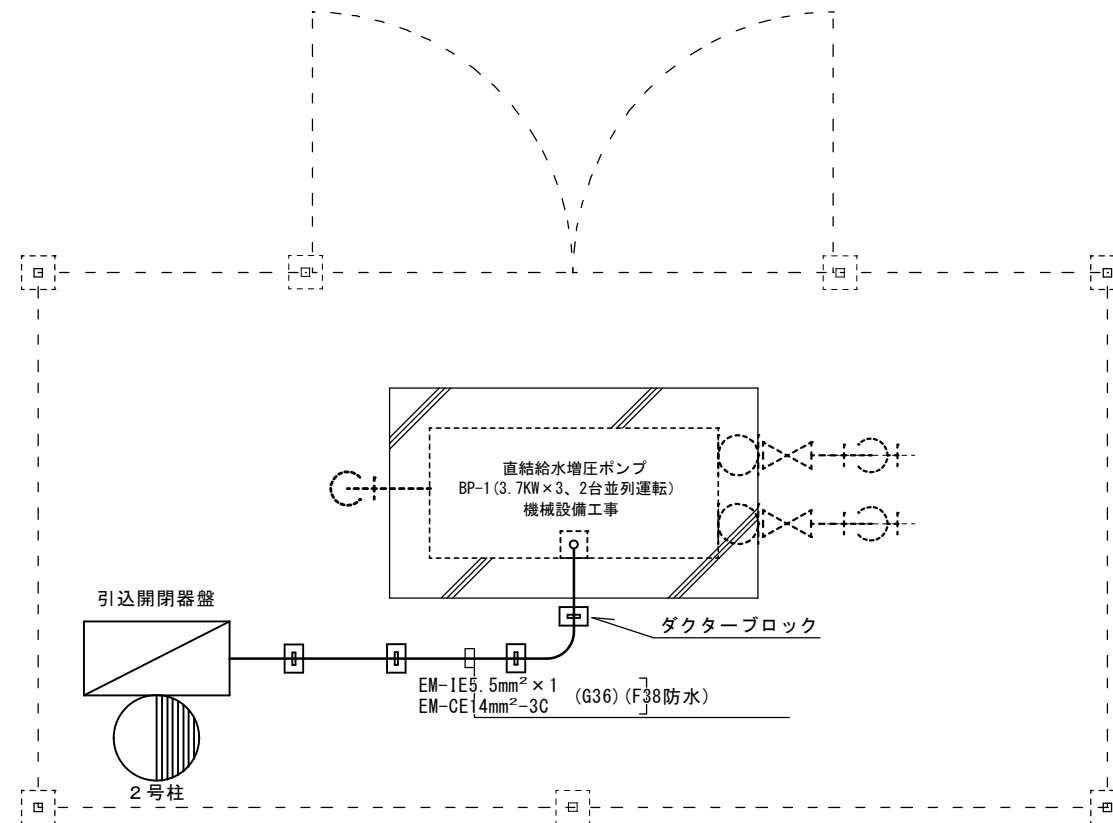
合計150戸



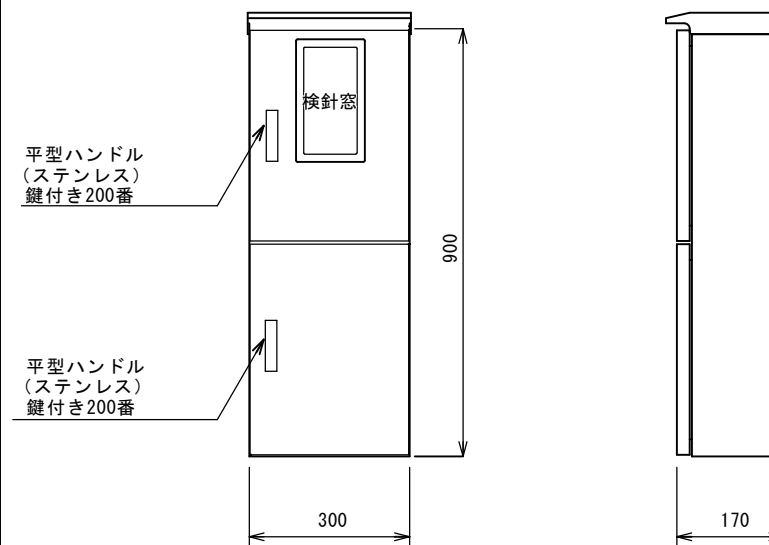




配線参考図 S=1/50

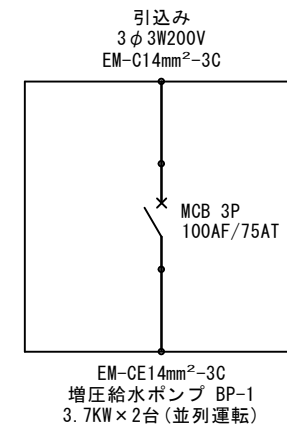


BP-2ポンプ廻り詳細図 S=1/20



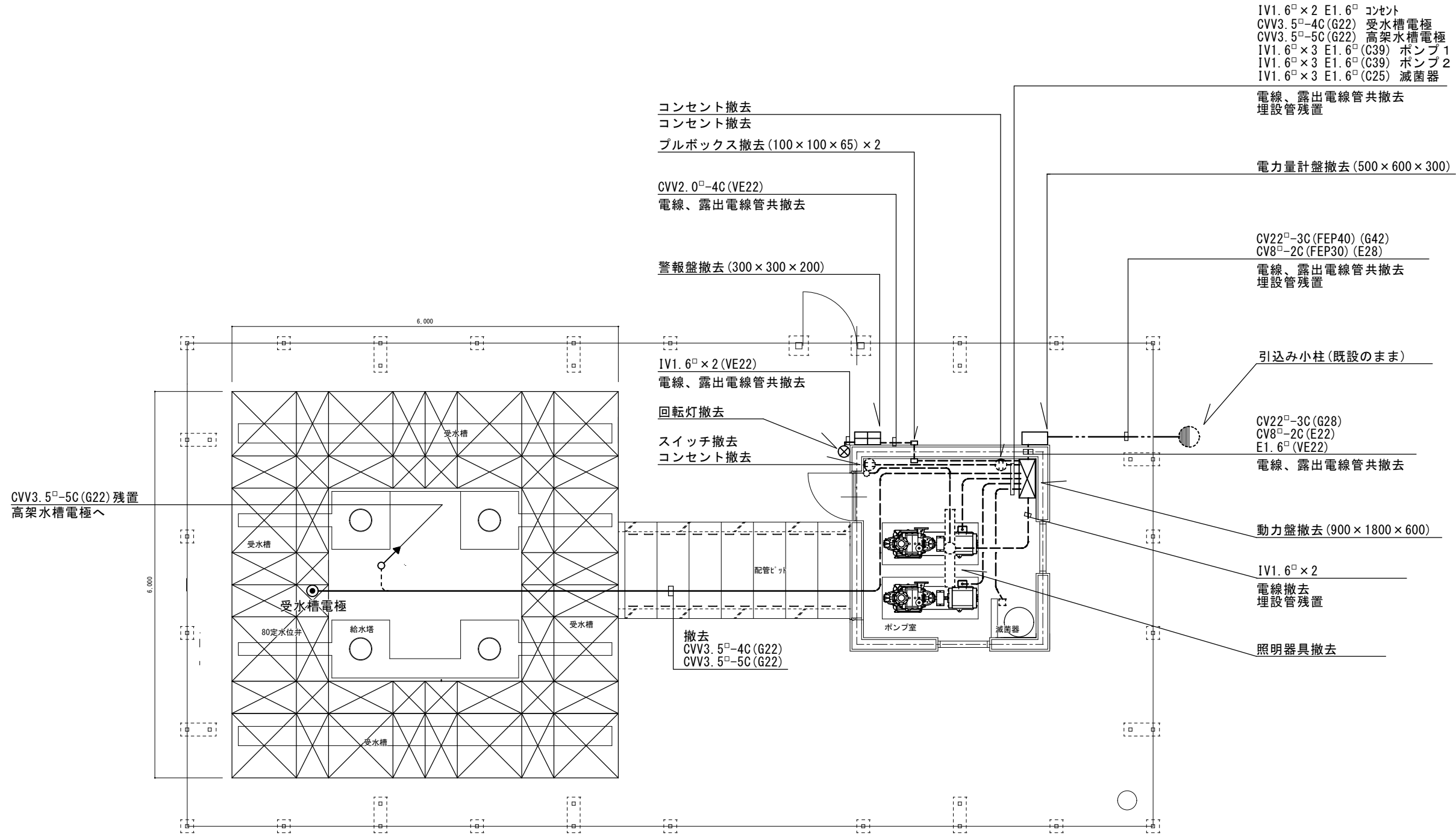
引込開閉器盤(参考姿図) S=1/10

(ステンレス製 寸法は参考とする)



開閉器盤結線図

屋外防水型SUS製
メーカー標準色塗装



ポンプ室詳細図 1 : 50